

第53回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 令和6年12月25日(水)午前10時から午前11時40分まで

会 場 青梅市役所 3階 教育委員会会議室

出席委員 19名、代理1名

宮口会長、佐々木座長、細金委員、若田委員、黒田委員、秦野委員、富樫委員、熊谷委員、高筒委員、倉科委員、高橋委員、木崎委員、薫田委員、三ツ木委員、宮崎委員、相馬委員、加藤委員、中山委員(五十嵐氏代理)、佐藤委員、石坂委員

傍聴者数 5名

配付資料

議事次第

青梅市公共交通協議会委員名簿

資料1:報告・協議資料

参考資料1:河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティの実証運行に関する地元自治会との協議結果(議事要旨)

参考資料2:河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティ実証運行に関する利用者アンケート調査結果報告書

1. 開会

2. 議題

【報告事項】

- (1) 前回協議会の振り返り
- (2) 第57回青梅産業観光まつりでの公共交通利用促進の取組について
- (3) 小学校交通環境学習について
- (4) 各交通事業者からの報告について

【協議事項】

- (1) 河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティ実証運行結果の速報と今後の予定について
- (2) 青梅市高齢者等タクシー運賃助成事業の試行について
- (3) SNS (LINE)を活用した情報発信について
- (4) 鉄道と路線バスのサービス圏外の解消に向けた取組について

3. 閉会

1. 開会

2. 議題

【報告事項】

○座長

それでは規約にもとづき進行を務めます。報告事項1～3について事務局から説明願います。

○事務局

報告事項1について資料1の2ページを説明

報告事項2について資料1の3ページから16ページまで説明

報告事項3について資料1の16ページから21ページまで説明

○座長

ありがとうございました。ご質問あるいはご意見はありますか。ないようですので、報告事項4、各交通事業者からの報告に移ります。各交通事業者から説明願います。

○委員(西東京バス株式会社)

報告事項4について資料1の22ページから23ページまで説明

○委員(東日本旅客鉄道株式会社)

報告事項4について資料1の24ページから26ページまで説明

○座長

ありがとうございました。ご質問あるいはご意見はありますか。ないようですので、協議事項に移ります。

【協議事項】

○座長

協議事項1、河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティ実証運行結果の速報と今後の予定について事務局から説明願います。

○事務局

協議事項1について資料1の27ページから52ページまで、および参考資料2にもとづき説明

○座長

協議事項1の説明ありがとうございました。ご意見などありますか。

○委員

試乗してみたら、5人乗っていて、坂道が大変なので助かる、今回は病院に行くのも便利になった等の意見がありました。坂道では子供などのための手すりがあった方がいいかもしれない。また、今回はバッテリーのトラブルがあったため、年間をとおして走らせるならルートも循環型にしてワンボックスカーとするのも可能ではないかと思います。

○事務局

実際乗車していただき、他の乗客の意見を聞いていただきありがとうございました。総合病院最寄りの下久保公園について、ご利用はあまり多くなかったものの、便利になったという声をいただき良かったと思います。車両に関しては事前に地域住民の方と調整させていただき決めましたが、今回の車両が古かったこと、車両交換にかかる運輸支局の手続きが2か月かかるということで、実

証運行中の車両交換ができませんでした。今後ルートや車両に関しては、地域住民の皆様と協議して本格運行につなげていこうと考えております。

今回の車両について、特性として小さい車体でも多くの人数が利用でき、車体幅が狭いことから運行経路を決める時にも有利になる点があります。車体幅、乗車人数、ランニングコストなども考慮する必要がありますが、今回の結果を含め、協議しながら決めたいと思います。

○委員

資料1の46ページにバスのサービス圏外となる地域を対象としていくとありますが、今回の地域はかなり急な勾配がある不便な地域であるという前提があるかと思います。他の地域では、また違った課題があるかと思うので、今回の河辺をロールモデルとしてやっていくにしても、その前提となる問題点が何であったかを整理しておく必要があります。44ページのアンケートでは、運行時間帯に関しては、他の項目に比べ少し評価が低いようです。自由意見を見ると色々な意見があって、多様なニーズに対応していく難しさもあり、定性的なまとめをどんどんしていくことで、他の地域ではこういう使い方、利用方法のイメージが持てるようになるかと思います。

○事務局

定性的な観点とともにクロスセクター的な観点も必要になるかと思うので、実際に乗車してなおかつ近隣の施設を利用したのかなど、乗車しただけでない効果についても検証し、他の地区で展開する際の参考として活用していきたいと思います。

○委員

参考資料2のアンケートで、タクシー利用が減ったという方が30%近くいるということで、地域の公共交通が不便な地域で移動する機会を増やそうという大事なところもありますが、一方で厳しい事業となっているタクシー事業の衰退になってしまうことがないようにする必要があります。今後事業者へのアンケートなどで、どのくらいの影響があるか分析し、総合的に市民の利便性が確保できるよう、またタクシー利用の補助なども含め、地域公共交通の持続ということで検討いただきたい。

○事務局

ご意見ありがとうございます。タクシー利用が減ったということは、我々も少し驚いております。既存の公共交通機関の維持確保を前提に、複数の選択ができる地域の交通体系を目指していきたいと考えており、こういう数字も含めてしっかりと検証していきたいと思います。

○委員

今回のグリーンスローモビリティの乗務員さんは、エンクロージャーの開け閉めを乗降に際して全てやらなければいけないなどかなり負担が大きかったのではないのでしょうか。一年通して運行するとすると、今回のようなタイプだとすごく大変になると思うのですが、乗務員の方はどうだったのですか。

○事務局

今、乗務員の皆さまを対象にアンケート調査をやっていまして、その結果も含めて検討してまいりたいと思います。他の地域の事例では、乗務員が1人で料金徴収やエンクロージャーの開閉、ベルトの固定をする事例もあります。他の事例や今回の結果を踏まえて良い形で取り組んでいきたいと考えています。

○委員

43ページの収支に関してですが、今後導入するにあたって、コストダウンとか費用負担だとかそ

ういったところへの考え方はどうなっているのでしょうか。

○事務局

今後の予定で、事例調査ということで目標数値の収支率等の事例や運営主体について整理していきます。今回は50日で16万円という結果が出ていますが、期間中乗り降りが自由にできるフリーパスを購入した方は、結果として、1回あたり実質71円でご利用いただいたことなども把握しております。

今後は、例えば100円という運賃、フリーパスの料金が妥当かどうかも含めて、持続可能な取り組みになるような事業を検討していきます。

○座長

この取り組みの経緯を見ると、実証運行でも最初の目標が少し分りにくくなってきたという感じもしますが、そもそも河辺町一丁目から三丁目の方が急坂のある駅までいけることが多分一番重要な指標であると思います。現実的にはかなりお金もかかっているところがありますので、どう削減していくかなどについて整理していく必要があると思います。

そのほかご意見等ありますか。

ないようなので、先ほどの内容でご意見を踏まえながらも、今後の予定についてご承認いただいたということにさせていただきます。

○座長

では次に協議事項2、青梅市高齢者等タクシー運賃助成事業の試行について説明願います。

○事務局

資料1の53～56ページを説明

○座長

ありがとうございます。ご質問、ご意見などありますか。

○委員

この対象となる市民は何人くらいなのですか。また青梅営業所の39台のタクシーが用意されるとのことですが、それを稼働させて対応するというのでしょうか。

○事務局

39台で対応していくこととなります。対象人数は約8,000人を想定しています。

○委員

予約の費用はどうするのですか。

○事務局

下車時の料金、それから予約時間指定した場合の料金も対象になり、最後メーターに表示される金額から助成させていただくというものになります。

○会長

自治会でも話題となっていますが、例えば市の車両で余っているものもあれば、それを利用するとかできないでしょうか、タクシー39台といってもすぐには来ないこともあるので、車両の数を増やして色々な目的に対応したらどうでしょうか。イベントなどの時にはボランティア団体の車などもあり、ライドシェアへの補助をするなども考えられないのでしょうか。

○事務局

今回の施行につきましては、既存のタクシーの利用促進を目的として、市内のタクシー事業者の

協力のもと、行うものです。西多摩のタクシー事業者は4社ありますので、その部分での利用拡大について、今後、考えてまいります。

○委員

マイナンバーカードは7割の人が持っていますが、今持っていない人はこれから手続きとなって時間的に間に合わないのではありませんか。

○事務局

今回はマイナンバーカードを活用することが必須となります。また2か月の施行になるので、新規取得されると間に合わなくなる可能性もありますが、本格実施でもマイナンバーカードを使うので、取得いただくということが選択肢になるかと思います。

○委員

前橋市などでは初めは紙であったということですが、そういうことは検討されないのでしょうか。要するにこの試行期間でも是非使いたいという場合になんらか対応した方が良いのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局

前橋市では最初は紙からスタートしてマイナンバーカードに切り替えています。紙で実施した時は事務量が增大したと聞いておりますので、マイナンバーカード一択で始めさせていただきます。

○委員

53ページの対象地区の選定で、人口密度を1ヘクタールあたり40人以上としていることについて、その理由を教えてください。それと55ページの文章が分からなかったのですが、改めて、マイナンバーカードをタッチするタイミングについて、教えてください。

○事務局

対象地区の選定にあたっては、青梅市地域公共交通計画の前、青梅市公共交通基本計画策定の際に、鉄道と路線バスのサービス圏外を分析するにあたり条件として1ヘクタールあたり40人以上としたことによります。

55ページ記載の走り始めのタッチの件ですが、タクシー乗車時に行き先を告げる際にマイナンバーカードの助成を使いますと言っていたくイメージです。途中の乗車には適用にならない、あくまで乗車した時にタッチしてくださいという案内です。

○委員

走り始めた後のタッチは無効ということですね、取り消しはできず無効という言い方と、取り消しはできませんという言い方はちょっと意味合いが違うような気がしたので、違和感がありました。

○事務局

整理させていただきます。

○委員

タクシー事業者とは細かい打ち合わせをされているかもしれませんが、トラブルが発生しないよう、ドライバーが説明できるように調整していただければと思います。半額の助成となるのですが、例えば850円というような場合には、5円という10円以下の端数が出てしまいます。すると5円というお釣りを用意されるのでしょうか。利用に際してドライバーがしっかりとお答えできるようよろしく願いいたします。

○事務局

事業者とは連携を密にしてトラブルがないような形でスタートできるよう取り組んでいきたいと思
います。運賃の割引については、基本的に利用者に不利益にならないように考えております。障害
者割引でも5円とか1円とか単位では行っていないこともあり、10円未満の金額は用意しません。

○委員

利用イメージを示す場合、時間予約した場合とかもあるので書きぶりをちょっと考えていただい
た方がいいかと思います。

○事務局

駅とか公共施設間の利用を想定して入った部分もありますが、予約料金に関しても分かりやすく
例示できるように工夫したいと思います。

○座長

タクシーの台数の問題がありました。イベントとかでは複数乗車を促す仕組みがあるといいかも
しれません。また公共交通が、人口の少ないところではどうするのかという事例を含めてご検討い
ただければと思います。

他に意見はありますか。

ないようなので、青梅市高齢者等タクシー運賃助成事業の試行については承認ということにさせ
て頂きます。

○座長

では次に協議事項3、SNS(LINE)を活用した情報発信の説明をお願いします。

○事務局

資料1の57～58ページを説明。なお当該LINEアカウントについて、協議会開催日の時点で
442人が登録しています。

○座長

ありがとうございました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

ないようですので、SNSを活用した情報発信について承認するという事にいたします。

○座長

次に協議事項4、鉄道と路線バスのサービス圏外の解消に向けた取組について説明をお願いい
たします。

○事務局

資料1の59ページから63ページを説明

○座長

ありがとうございました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

ないようですので鉄道と路線バスのサービス圏外の解消に向けた取組について、承認することと
いたします。

その他よろしいでしょうか。ないようですので、本日の協議を終了いたします。進行を会長にお返
しします。

○会長

熱心な御議論をいただき、ありがとうございました。皆様の御協力によりまして、円滑に議事を進
めることができました。なお事務局より連絡事項があります。

○事務局長

次回の本協議会は、令和7年3月頃の開催を予定しております。後日開催通知を送付いたします。

○会長

以上を持ちまして、第53回青梅市公共交通協議会を閉会いたします。

以 上